

# 「変わり種」で地域おこし

「疫病が流行した際は、私の姿を描いた絵を人々に見せよ」と告げ、疫病を封じたと伝わる妖怪アマビエ。この春、妖怪をかたどったアマビエのぼりをつくったオフィスグループの社長を務める。

「毎年、いろいろなごいのぼりをつくっていただきます。新型コロナウイルスの感染が広がる中、SNSでアマビエを知りました。半人半魚の魚っぼい。こいのぼりにして『沼津こいのぼりフェスティバル』で狩野川などで掲げれば『明るい話題になる』と考えました。」とこう

## ひとしずおか

アマビエこいのぼりを制作 **窪野 岳さん(49)**



が、フェスティバルは中止。アマビエこいのぼりは寺に奉納された。社長を務めるオフィスグループはウェブサイトや看板、印刷物の制作をする企画会社。印刷会社やウェブサイトの制作会社に勤めていた窪野さんが創業し、2006年に株式会社に移行した。「変り種こいのぼり」も宣伝媒体の制作の一環で、実は事業の延長線上にある。…と、毎年、変り種こいのぼり、タコのぼり…

きっかけは10年ほど前。取組みが話題になり、17年は太刀魚漁獲量日本一の和歌山県有田市から「長さが6倍のタチウオのぼりを20匹」と注文が入った。大口の注文に心えるため、高校の同級生から入つて、ミシンを扱える女性のネットワークもつくった。名付けて「ミセスミシン」。現在は18人が変り種こいのぼりをつくり続けている。

くほの・がく 1970年、沼津市生まれ。市立沼津高、朝日大経営学科卒。ここ10年は遠ざかっているが、小学校低学年から始めたアイスホッケー歴は30年以上。中学1年の長男もアイスホッケーに親しむ。

「お客さんに喜んでもらえるものを提案し、サポートすることを一番に考えています。喜んでもらえたら、仕事が広がり、利益もついてきます」と笑顔を見せた。「石川宏

いぼりつくりを支援している。「縫製の能力を眠らせている女性が多いことに気づきました。年間を通じて注文が入れば、雇用の創出につながるはずです」と言つた。新型コロナウイルス禍の混乱をよそに、今年も牛柄こいのぼり、牛乳のぼり、きつねのぼりなどの新たな変り種こいのぼりが徐々に青空を泳ぐ。「ご当地こいのぼりは地域おこしとうまく結びつきます。戸田で深海魚のぼり、富士宮でニジマス

静岡 SHIZUOKA shizuoka@mainichi.co.jp

### 静岡支局

〒420-0035 静岡市葵区七間町8の20 054・254・2671 FAX054・254・2675

### 浜松支局

〒432-8025 浜松市中区栄町302の17 053・453・2181 FAX053・453・2182 掛川通信部 0537・24・7500

### 沼津支局

〒410-0801 沼津市大手町1の1の3 055・962・0204 FAX055・964・0225

### 富士通信部

0545・67・2021 FAX0545・67・2073

伊東通信部 0557・37・5117

広告 は 054・284・0112

購読 は ☎0120・468・012

## 母の日にガーベラを

浜松 視覚障害者が販売

10日は「母の日」。今年には新型コロナウイルス感染症の影響による「自粛ムード」で、花の出荷が伸び悩んで、苦しむ花卉農家を支援しようと、浜松の視覚障害者支援施設「ウイズ蜆塚」(中区)は8日、ガーベラを150本が2時間で